

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.15

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626



防衛省に抗議要請するうりずんの会

米軍少女暴行事件に抗議

昨年12月、少女を誘拐し性的暴行をしたとして、那覇地検が嘉手納基地所属の米兵を起訴していたという重大事件が、6月25日の報道で明らかになりました。外務省・首相官邸は、事件を把握していたにもかかわらず、事件から半年、起訴から3か月もの間、沖縄県に伝えず、事実を隠し

ていきました。昨年1月から今年5月末までに、米兵による性的暴行事件が他にも4件発生し、県に伝えていなかったことも判明しました。同28日、嘉手納基地前で、県内各地から集まった約100人が事件と政府による情報隠しに抗議し、基地の撤去を求めました。県議会、市町村

ながら県民には知らせず、沖縄全戦没者追悼式に参加して『基地負担軽減』を口にした。これを屈辱的と言わずして何というか」と満身の怒りをもって抗議しました。

米軍、日本政府はいまだに謝罪をしていません。隠ぺいに至る経過も未解明のままです。総理出席の予算委員会を開催して内容を明らかにし、基地の縮小・撤去にふみきるべきです。

【一覽】

◆日本共産党国会議員団で外務省の宮本新吾参事官に抗議要請（6月26日）

◆米軍犯罪被害者のキャサリン・ジェーン・フィッシャーさんと関係省庁に抗議要請（同27日）

◆オール沖縄会議で沖縄防衛局と沖縄県警察に抗議要請（同28日）

◆うりずんの会で内閣官房の村井英樹副長官、防衛省の松本尚政務官、外務省の穂坂泰政務官に抗議要請（7月5日、写真）



真夏の炎 天下で、セミとりをしたり、カマキリを捕まえては、虫かごと学校に持っていった、同級生に自慢したりしていた孫が、7月の連休以降、「マイコプラズマ肺炎」という感染症にかかって、数日家でゴロゴロしていた▼

子どもの間で流行しているらしい。高熱が出たり、収まったりしているが、「ゴロゴロばかりで退屈だ」と生意気な口をきく▼そばでオバーさんが党創立102周年の記念講演を視聴していたらしく、「じーじーの仕事は102年だよね」と得意げだ▼孫はもうすぐ夏休みを迎える。子どもだけで安心して遊べる公園がたくさんほしいと思う今日この頃である。

辺野古座り込み10年

「人間の鎖」に1200人

2014年7月、キャン・シユワゲート前で、辺野古新基地建設に反対する座り込み



辺野古新基地建設NO/を掲げる赤嶺議員、県議団ら

を始めてから7日で10年となるのを前に、「県民大行動」(オール沖縄会議主催)が行われました。集会に先立ち、約1200人の参加者がフェンスを囲むように手をつないだ「人間の鎖」で、新基地反対をアピールしました。

県内で相次ぐ米兵による性的暴行事件や新基地建設の強行、抗議活動中の死傷事故などに怒りの声が上がりました。オール沖縄会議の稲嶺進共同代表は10年間に起こった米兵による事件事故に触れ、「こ

れらすべてに日米による植民地支配が具現化している」と指摘し、「われわれは負けない、諦めない」と訴えました。

糸数慶子共同代表は「基地があるが故に女性への暴力が起きている現実を日米両政府に訴えてきたが、どう変わったのか。ますますひどくなっている」と政府への怒りを込めました。

玉城デニー知事も集会にメッセージを寄せ、「米軍への綱紀粛正が行き届いていない由々しき事態。激しい怒りを覚える」と抗議。赤嶺政賢議員ら「うりずんの会」の国会議員も駆けつけました。

この間の行動

- 首相官邸前の地方自治法改悪抗議集会(沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック主催)で挨拶(6月19日)
- 第4次嘉手納基地爆音差止訴訟原告団定期総会、那覇市議補選必勝・県議選報告会で挨拶(同22日)
- 小池晃党書記局長、党県議団と沖縄全戦没者追悼式に出席し、追悼碑に献花。日本台湾商会連合総会懇親会に出席(同23日)



- 那覇市議補欠選挙予定候補者の上原やすお事務所びらきで挨拶(同24日)
- 「島々から呼びかける: 全国を戦場にさせない! 東京行動」院内集会で挨拶(同27日)
- 上原やすお演説会(首里、真和志)で挨拶(7月7日)
- 辺野古新基地建設の土砂を搬出する安和棧橋での事故現場視察(同8日)
- 党ジェンダー平等推進委員会に出席・発言(同9日)
- 沖縄北方特別委員会理事懇談会に出席・発言(同10日)
- 沖縄税理士政治連盟懇親会に出席(同12日)
- 上原やすお出席式、街頭演説会(県庁前)で挨拶(同14日)
- 安全保障委員会理事懇談会に出席・発言(同18日)

あかみね政賢

市議・国会議員35年の実績・足跡 (11)

2018年は名護市長選挙、県知事選挙、那覇市長選挙をはじめ沖縄統一地方選挙、正念場の年です

をめぐりして頑張ります。臨時国会では自民党改憲案の提案を阻止、野党共闘の流れも強まる

昨年10月に行われた総選挙で、7期目当選を果たしました。小選挙区1区での連続当選は、辺野古新基地建設を許さない強い民意の表れです。今年には沖縄統一地方選挙の年です。オール沖縄の前進で、安倍強権政治の転換をめざします。(『アカミネセイケン国会だより』2018年1月号)

安倍首相が執念を燃やしていた自民党改憲案の提出は、国民世論と野党共闘で昨年は断念させることができました。今年の通常国会は憲法9条を守る闘いの正念場です。7月の参院選挙で市民と野党の共闘を必ず実現させ、安倍内閣打倒の流れを切り開きます。(『アカミネセイケン国会だより』2019年1月号)

沖縄に対する安倍内閣の強権政治は、必ず打ち破れる

玉城デニー沖縄県知事誕生は、安倍政権の強権政治への大きな痛打となりました。政府は12月14日、辺野古への埋め立て土砂を投入する暴挙にでましたが、その直後から内閣支持率が下がり、辺野古反対の国民世論が急速に拡大しています。2月24日の県民投票の成功



辺野古埋め立てをめぐる政府の不当性を追及